

●播但図書館連絡協議会研究集会  
【講演】

**パスファインダー超簡単講座**  
—新しい案内ツールをどう作るか—

仁上幸治 (にかみ・こうじ/帝京大学総合教育センター准教授)  
■2012年12月14日(金) 14:00-16:00(2時間:質疑応答含)  
■姫路市立城内図書館 2階 大会議室

0. イントロダクション



自己紹介

自己紹介

- 仁上幸治 (にかみ・こうじ)
- 元早稲田大学図書館司書
- 帝京大学総合教育センター准教授
  - 図書館学(司書、司書教諭)
  - 基礎演習 I・II (経済学部2年生必修)

- ・2012.12.14-図書館地区別研修中国・四国地区
- 講義とワークショップ「図書館ブランディング実践講座—何を誰にどうアピールするか—」岡山県立図書館

●播但図書館連絡協議会研究集会  
【講演】

**パスファインダー超簡単講座**  
—新しい案内ツールをどう作るか—

仁上幸治 (にかみ・こうじ/帝京大学総合教育センター准教授)  
■2012年12月14日(金) 14:00-16:00(2時間:質疑応答含)  
■姫路市立城内図書館 2階 大会議室

本日の内容

- [1]パスファインダー構想前史
- [2]パスファインダーとは何か
- [3]バンク構想への展開
- [4]日常業務の環境条件
- [5]作成法のポイント
- [6]作成手順
- [7]対象者の設定
- [8]6つの極意
- [9]パスファインダーの次世代機能
- [10]結論

お願い

- 本講演はスライドショー＝ライブ
- 配付資料は先読み無用
- スライドのノートテイク不要
- 資料は後日ホームページ公開
- 実習時間＋発表時間
- 感想と質問のメモ

事前課題

10

■見本

- PFWS2008-見本0-manual2003.pdf
- PFWS2008-見本1-ws1-PF集全体構成表-経済.xls
- PFWS2008-見本2-ws2-PF企画案.xls
- PFWS2008-見本3-ws3-PFトップページ.doc
- PFWS2008-見本4-ws4-PF地球温暖化.pdf
- PFWS2008-見本5-ILL申込書.xls

11

■ワークシート

- PFWS2008-ws1-PF集全体構成表.xls
- PFWS2008-ws2-PF企画案.xls
- PFWS2008-ws3-PFトップページ.doc
- PFWS2008-ws4-PF本文.doc

12

目次

- 【1】パスファインダー構想前史
- 【2】パスファインダーとは何か
- 【3】バンク構想への展開
- 【4】日常業務の環境条件
- 【5】作成法のポイント
- 【6】作成手順
- 【7】対象者の設定

13

【1】パスファインダー構想前史

14

パスファインダー基礎データ収集

- (1)貸出返却やレファレンスの窓口対応の中でどうい質問が多いか
- (2)多くはないが、回答に手間がかかって困っている質問はどんなものか

15

質問の区分

- 貸出デスク
  - 「どこですか？」質問
- レファレンスデスク
  - 事実調査:データ・資料
  - 「どう調べれば？」質問

16

レファレンスサービス

- 事実調査
- 情報探索法指導

17

同じような質問

- 蓄積
- 答を用意
- 事実そのもの
- 掲載情報源
- 調べ方

18

**忙しい**

- 一人では手に負えない
- 対応者によるバラつき
- サービスだから

19

**疑問**

- 利用者はなぜ自分で調べられないのか？
- 応用力を身につけてもらえば質問は減るのでは？
- より高度なレファレンスサービスを展開する余力を生み出せないか？

20

**問題の枠組み**

- 利用者教育・情報リテラシー教育
- 情報探索行動研究
- 地域社会の中の図書館
- 図書館界の中の自館

21

**対策**

- 配布用プリントを用意しておく
- ホームページに掲載しておく
- 職員向けのツールも必要
- 職員研修が必要

22

**地域連携**

- 学校から公共図書館へ
- 連携が丸投げか？
- 司書レベルの問題？
- 学校側の問題？

■ **地域の教育力**

23

**利用者教育**

- ニーズは上流で
- 利用者の自立
- 情報リテラシー教育
- 総合的体系的な理念と目標
- 部分的段階的な方法と実践
- 情報探索ツールの整備

24

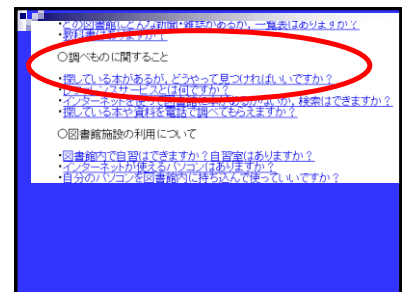
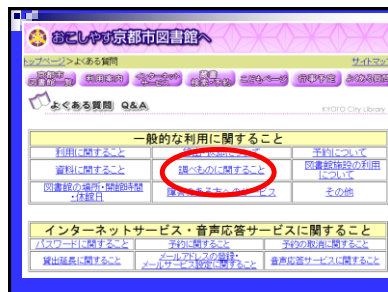
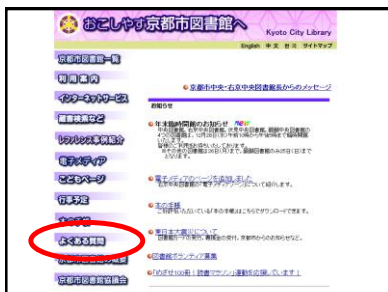
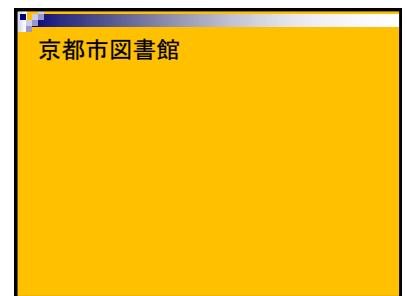
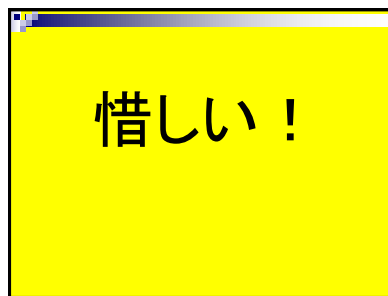
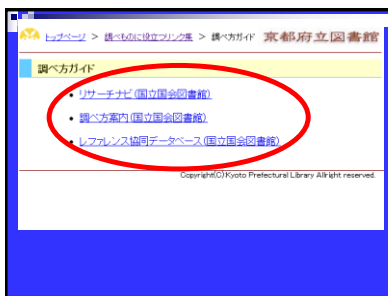
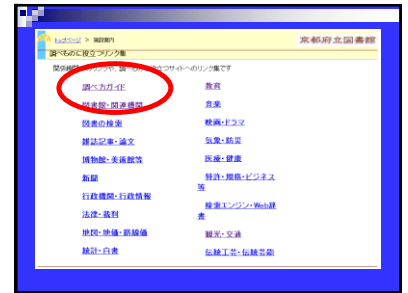
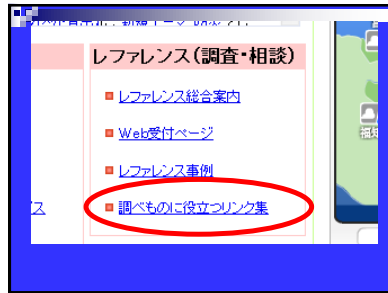
**指導サービス**

- 段階に合わせた情報提供
- 前後の段階を見通して
- 目的に合わせて
- 必要な時に必要な量を
- 方法・手順を含めて

25

**パスファインダー**

京都市立図書館



調べものに関すること

Q. 探している本があるか、どうやって見つけたいですか？  
 A. 窓口の職員に尋ねて下さい。図書館にある図書検索機(OPAC)で、自分で検索することもできます。電話での問い合わせも可能です。インターネット上の図書館検索サービスから検索することもできます。

Q. レンタルサービスはありますか？  
 A. 図書館職員が図書館の資料やサービスを貸し出すこと、調べたいことなど、調査研究のお手伝いをするサービスです。資料に職員が対応してあります。

Q. インターネットを使って図書館に本があるか調べたいが、検索はできますか？  
 A. 図書館が「子」で検索することができます。

Q. 探している本や資料を電話で調べてもらえますか？  
 A. 電話でも可能です。ご連絡が電話してあります。

惜しい！

次の課題

- 一般的な調べ方でよいか？
- 固有の地域情報の調べ方は他の誰が教えてくれるのか？
- **地域の教育力**

【2】パスファインダーとは何か

40

- 「パスファインダーとは、あるトピックを調べるために役立つ資料の探し方を学生に分かりやすくリストアップした一枚のちらしです。」
- 丸本郁子「パスファインダー(Pathfinder)を作ろう」『図書館利用指導ワークショップ報告書(第6回)』日本図書館協会短期大学図書館部会、p.80-136, 1988.

- 「パスファインダーは、あるトピックに関する資料を集めるとき道のりである。したがって、ガイドブックや文献リストとは異なり、関連資料や情報を完全に網羅して記載する必要はない。むしろ、具体的な資料そのものは利用者がそこに示されている手段に従って、自分の必要にあったものを自分で発見できるように作られていけばよい。」
- 丸本郁子、椎葉もと子編『大学図書館の利用教育』(図書館員選書;27)日本図書館協会 256p, 1989.

- 「パスファインダーに図書館所蔵の選りすぐりの資料を主題・テーマごとに記すことによって、利用者は簡単な情報入手から一歩踏み込んだ情報収集までの最初のステップをライブラリアンの手を借りずに一通り行うことが可能になる。」
- 鹿島みづき、山口純代「図書館パスファインダーに見る次世代図書館の可能性」『情報の科学と技術』52(10), p.526-537, 2002.

- 「図書館パスファインダーとは、利用者が特定のテーマに関する情報収集を図書館で行う際の、最初のとっかかりになる図書館資料のガイドもしくは要チェックリストのようなものを言います。大げさにいえば、図書館ナビゲーションツールです。」
- 鹿島みづき、山口純代「図書館パスファインダー：次世代図書館に生かせる古くて新しい図書館の技術」『館灯』(私立大学図書館協会)42号, p.35-46, 2004.

札幌市中央図書館職員研修

- テーマ：図書館パスファインダーを情報支援の確かなツールに！ーパスファインダーの理論と作成の基本を学ぶー
- 講師：北海道武蔵女子短期大学専任講師 木村修一
- 日時：平成23年8月24日(水)13時～17時
- 場所：札幌市中央図書館3階会議室
- 2. 図書館パスファインダーとは(説明)
- 2.1. 定義